

# 令和6年度 自己評価・学校関係者評価

令和7年1月25日

高橋文化学園 牛浜幼稚園

## 1 本園の教育目標

たくましく生きていく力の育成

- ・丈夫なからだの子どもを育てる
- ・思いやりのある優しい子どもを育てる
- ・強い心をもつ子どもを育てる

## 2 令和6年度に重点的に取り組む目標

「強い心をもつ子どもを育てる。」

これを受け〈育てたい子ども像〉を、『幼稚園生活の中で、やりたいことを見つけ、心と体を十分に動かし、充実感をもって生活する子。互いに励まし合い、「やった!」「おいしい!」等、様々な感情を分かち合える子。』とした。

## 3 評価項目の達成及び取り組み状況（自己評価）

評価項目は、以下に示す1～8の内容について、全28項目を設定した。

- 1 教育目標を生かした教育実践がなされているか。
- 2 本年度の重点および「育てたい子ども像」を意識した働きかけがなされているか。
- 3 施設の運営が適切になされているか。
- 4 年間行事予定は効果的に教育活動を進める上で、適切に組むことができているか。
- 5 時程表（登園・降園・給食・授業等）は、園児の心身の健康に配慮して、組むことができているか。
- 6 職員時程表は、「学年間の意思疎通」や「個々の教員の授業準備時間確保」に生かされているか。（若手育成会議・若手会議のねらいに沿った実施を含む）
- 7 組織表は、実際の役割分担を反映して、作成されているか。
- 8 組織運営のための各分野の内容及び配慮事項は、現場に十分に生かされているか。

- (①保健管理 ②安全管理 ③特別支援教育 ④保護者・地域連携 ⑤子育て支援  
⑥教育環境整備 ⑦研究 ⑧預かり保育)

## 4 自己評価のまとめ

ここには、各内容について平均値を示しながら、主なものについて説明を付け加えることとする。

平均値は、Aを3点、Bを2点、Cを1点として、求めた。

(A:効果的に実施できている B:ほぼ良い C:改善が必要)

○ 8の②安全管理、8の⑤子育て支援、8の⑧預かり保育に関しては、効果的に実施できていると判断して良いであろう。

○ 評価の低かった、6職員時程表及び 8の⑥教育環境整備について、令和6年度の実態・改善案を示す。

### 6職員時程表について

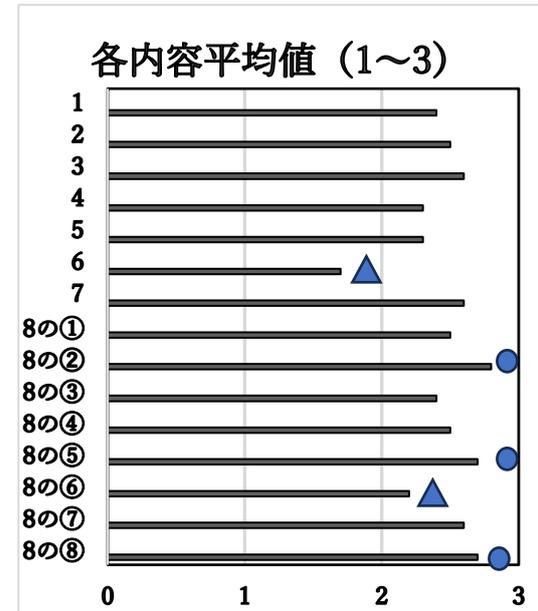
・若手からベテランまでが共に仕事をするため、「若手が個人の仕事の

時間を確保できる」よう、学年の時間と個人の時間を分けて示したのが令和6年度の形である。しかし、学年の時間が個人の時間にくい込む実態が目立った。学年の時間と個人の時間の配分と順序を工夫し、「若手が個人の仕事の時間を確保できる」状態を守りたい。

・新設した「若手育成会議」「若手会議」は、学年間の情報共有に資するところがあったり、若手育成の課題を確認し合ったりすることに役立っていた。また、若手は自身の課題を見つめ、保育で取り入れてみたい内容を伝え合い、モチベーションの維持に一部貢献した。しかし、行事が立て込んでいる時期の実施や、話し合っても結論や成果が明確でないことから、その意義を疑問視する意見もあった。今後は、各会議で示された提案や課題を時には職員会議で話題にしたり、主幹・教務主任が相談に乗ったりして、改善や実現をサポートできるようにしたい。

### 8の⑥教育環境整備について

・図書の実態に関する意見が複数あった。そのため、古いものの廃棄・新規購入・計画的に図書館から借りる等を進めたい。園の中に図書コーナーを新設することも、数年かかるが検討したい。



## 5 学校関係者評価の状況及び対応

保護者アンケート及び理事・監事の方へのアンケートを実施した。

結果概要は次のとおり。

### ① 保護者アンケート

A 回答の多かったもの（上位3つ）は、次の項目であった。

Q1・・・教員は温かい学級づくりを進めている。(A 評価・・・90.2%)

Q15・・・教員は、明るく熱心である。(A 評価・・・87%)

Q17・・・お子さんは本園の生活を通じて、確実に成長している。(A 評価・・・88%)

教員へのプラス評価は、ありがたいと感じるとともに、保育に当たるうえでの責任を改めて認識した。今後も研修を充実させ、保育の質を高めていく。

A 回答の少なかったもの（下位3つ）は、次の項目であった。

Q19・・・「探究活動:葉っぱ」を取り入れた活動の経験が、子供たちの遊びや生活に垣間見られることがある。(A 評価・・・65.2%)

Q18・・・園は地域連携・人材活用等に配慮した取り組みを工夫している。(A 評価・・・73%)

Q8・・・園は子どもの様子や活動をおたよりやホームページなどで、わかりやすく伝えている。(A 評価・・・70.8%)

活動の様子の見える化をさらに工夫する。取り組みが保護者に伝わることで、家庭でも話題になり、子どもたちとの会話がはずみ、楽しい体験を、家庭と共有できるようにする。地域連携については、令和6年度再スタートした内容である。さらに取り組みの幅を広げたい。

また、保護者アンケートに寄せられた主な要望・質問は次の通り（要点）。

#### ○預かり保育関連

- ・長期休暇中の給食を出してほしい。
- ・早朝保育の様子を知りたい。

#### ○行事

- ・運動会競技の充実を（徒競走・親子競技等）。

#### ○特別支援

・加配の先生ともっと話を出来るが良い。

○駐車場

・整備（区切りのひもや凹凸）。

○動画・写真

・さらなる充実を。

○保育

・お友達との言葉遣い指導の進め方。      ・主体性・個性を大切に。

令和6年度中に、各質問等への回答を配信し、また具体策を講じることとする。

② 理事・監事の方による評価

ほぼA評価を頂いた。10月の参観にご参加いただくことができ、より明確なイメージをもっていただくことができた。各理事・監事の方のご意見を要約し掲載する。

○先日拝見させていただいたとき、子供たちがとても楽しそうにしているのが、印象的でした。

○教育課程への取り組み方、教員の研修等とても素晴らしく感じました。探求学習は、全学年が取り組み、その後の発表などとても大変だと思いますが大切なことだと感じ入りました。

○育てたい子ども像を、検討し文章化したことは素晴らしいことです。教職員がその目的に沿い丸となって取り組めることが可能となります。保護者の声は、課題の提起と受け止めることが重要です。年間行事予定を見て充実しているなどと思います。実施するには準備が必要。朝10分の学年会を職員室で実施すること「他学年の空気も感じつつ」細かい配慮ですが大変重要なことです。若手育成会議を充実してください。

○今年度初めて授業参観の機会を設けて下さり、先生方の熱心なご指導、子ども達一人一人への関り、そして子供たちの嬉々とした表情、やる気のある姿に触れ、すばらしい園だと感動しました。さらに令和6年度の取り組みとして、4つ挙げられます。

まずは、教育課程を冊子にされたことです。このおかげで学年を系統的にかつ発達段階も明確になります。さらには、この教育課程をPDCAに沿って改善していくという共通理解です。

そして 今年度から預かり保育、こあら学級についても、評価項目に示してあり、大切な時間です

ので、とても良いと思います。

研究推進についても、テーマを葉っぱと絞り、各学年が同じく観察していく過程が、子供たちの貴重なつぶやきもしっかり拾いながらまとめられていました。この資料から子どもたちの葉っぱを通して自然の不思議など興味や好奇心が確実に膨らんでいることが伝わってきました。

理事・監事の方のご意見を受け止め、教職員の共通理解、保護者意見に真摯に向き合うこと、子どもたちをしっかり受け止め興味や好奇心を大切に保育に当たることの大切さを再確認した。

教育課程の改善につなげたい。

## 6 まとめ

保護者アンケートには、「お友達との言葉遣い指導の進め方」「主体性・個性を大切に」という、保育に直結する内容が見られた。特に「主体性・個性を大切に」という要望は、全ての教員が日々の保育を改めて振り返ったり、本園で、受け継がれてきた保育を再構築する視点として生かしたい。

理事・監事の方からは、多くの励ましを頂いた。教育課程を明確に示すこと、全教員の知恵を集めて

「育てたい子ども像」を決めること、学年間の情報共有、若手同士の学び合い、若手育成者同士の情報共有などは、まだ未完成ではあるが、保育のPDCAサイクルでの改善に資するところがある。

令和6年度は、地域連携、探求学習の一步を歩みだすことができた。変化の激しい、価値観の多様化した社会を、「たくましく生きていく力」を育むには、様々なもの、人との出会いや自分なりの興味関心を生かした生活体験の充実が重要である。その意味で、地域連携、探求学習は、今後も充実が望まれる。

令和7年度は、外部評価に取り組む。外部の専門家の方の力をお借りして、園の保育や教育課程、学校評価を見ていただき、改善のヒントを頂きたいと考える。